

《れぼふる》への入院について

次のような入院が対象となります。

- ◎ 外来通院などでは症状緩和が難しいがん患者さんの、状態立て直しのための入院
- ◎ 在宅療養を支える家族が休息をとるための、がん患者さんの一時的な入院(レスパイト入院)
- ◎ がん患者さんが症状緩和を図りながら、最後の時間を穏やかに過ごすための入院

*後天性免疫不全症候群の患者さんで入院をご希望の方は個別にご相談ください。

入院までの流れ

患者さんが現在通院されている医療機関で治療を担当されている医師をとおしてお申し込みください。

病院または診療所から電話で予約し、必要書類(①~④)をご準備いただき、労災病院へ提出

必要書類

- ① 診療情報提供書
- ② 《れぼふる》入棟情報補足資料
- ③ 看護添書
- ④ 検査、画像等診療データ

必要書類を郵送またはFAX等で送付

入院前の面談・相談

外来通院

判定会議

入院

事前のご質問、ご相談につきましては、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

担当者:医療ソーシャルワーカー

TEL.0154-22-7191 (代表) [内線 2155]

FAX.0154-21-9860 (直通)

交通アクセス



釧路労災病院は、JR釧路駅より約2.4km(車で15分)



バスをご利用される方

- くしろバス
南北線(東高校)[55]・美原線[65]をご利用ください。「労災病院前」下車
- 阿寒バス
新橋大通大曲バス停下車(徒歩約10分)

独立行政法人 労働者健康安全機構
釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中国町13番23号
TEL(0154)22-7191(代表)
FAX(0154)25-7308
<https://kushiroh.johas.go.jp/>



《れぼふる》

(緩和ケア病棟)

のご案内

《れぼふる》の理念

つらさは最小に
よろこびは最大に



独立行政法人 労働者健康安全機構
釧路ろうさい病院

《れぼふる》では

症状緩和を第一に

- 体のつらさ(痛み、息苦しさ、吐き気、だるさなど)や気持ちのつらさの治療とケアを積極的に行ないます。
- がんに対する積極治療(手術、抗腫瘍薬投与など)は原則としておこないません。
- いわゆる延命処置や、症状緩和につながらない検査等はおこないません。

普段の生活を少しでも

- 個室には全室専用トイレを設けました。
- 家族らの面会時間に制限はありません。ソファベッドなども用意しており、宿泊もできます。付き添いに疲れたら談話スペースや家族控室などでお休みください。
- 家族用のキッチンスペースを設け、手料理などを作れるようにしました。お酒の持ち込みなども大丈夫です。

患者・家族らの お仕事も支援します

- 病棟にはWi-Fiを整備してあります。
- 就労支援会議室を設け、パソコンや通信機器の利用もできます。
- 退院後の就労などの相談も行ないます。

チームワークで

- 多職種スタッフが常に情報共有し、釧路ろうさい病院ならではのチーム医療を行ないます。



《れぼふる》とは

緩和ケア病棟の愛称を学生から公募しました。

フランス語のrepos(安らぎ、休憩)をfullyに提供しようというコンセプトで、より優しさを感じ、より暖かい看護を受けていただくことをイメージして、ひらがなで《れぼふる》と表現しました。



入院料・お部屋・施設について

厚生労働省の定めにより定額制となっておりますが、入院期間や使用される物品、入室されるお部屋などによって変化します。

また、各種健康保険が適用され、高額療養費制度をご利用いただくことができます。

れぼふるの病床は33床で構成

- 1人部屋(13室)
- 3人部屋(4室)
- 4人部屋(2室)
- 特別室(1室)シャワー・トイレ付 9,900円/日(税込)
- 有料個室(3室)トイレ付 5,500円/日(税込)

(全ての個室に専用トイレを設けております。)

その他、談話スペース、家族控室、キッチンスペース、面談室、ご家族が利用可能な浴室、バリアフリーのトイレも完備しております。

Wi-Fiを整備しております。退院後の就労支援などの相談も行います。

詳細は医療ソーシャルワーカーにお尋ねください。

新型コロナウイルス対策

- 全病室熱交換型換気扇の設置による換気回数の確保(1時間に6回)



特別室



病室のバリアフリー化



キッチンスペース



リハビリスペース

新型コロナウイルス対策に力を入れました。

- オンライン面会のためのWi-Fi・タブレット端末整備
- 感染防止に配慮した面会スペースの設置